

— 令和 7 年度 —

年報 第 7 号

刈谷市歴史博物館
刈谷市郷土資料館

目 次

I 歴史博物館事業	1
1 沿革・施設概要	
2 展示事業	
3 教育普及事業	
4 管理・運営	
II 郷土資料館事業	30
1 沿革・施設概要	
2 展示事業	
3 教育普及事業	
4 管理・運営	
III 収集保管事業	39
1 収蔵資料	
2 調査件数	
3 貸出・画像提供利用件数	
4 寄贈資料	
5 新規寄託資料	
6 購入資料	
7 修復資料	
8 その他	
IV 埋蔵文化財事業	42
1 埋蔵文化財取扱業務	
2 主な調査概要	
3 出土遺物等整理作業	
4 報告書等刊行物	
V 条例・規則	46
1 刈谷市歴史博物館条例	
2 刈谷市歴史博物館条例施行規則	
3 刈谷市郷土資料館条例	
4 刈谷市郷土資料館条例施行規則	

I 歴史博物館事業

1 沿革・施設概要

(1) 沿革

刈谷市は、長い歴史の中で培われた市の財産である資料の保存・継承・調査・研究を行うことを目的とし、それらの資料を活用することで、市民（利用者）が刈谷の歴史に親しみ学ぶことができる施設の設立をめざし、第6次総合計画から歴史博物館建設事業計画を開始した。

平成19年度には庁内で検討プロジェクトを発足し、平成22年度に基本計画を策定、平成23年度から外部の有識者を含めた検討委員会を開催し、建設計画が本格的に動き始めた。

その後、基本設計（平成26年度）、展示・建物実施設計及び用地測量、環境調査（平成27年度）を経て、平成28年度から建設工事に着手した。

平成30年5月31日に竣工し、平成31年3月24日に“刈谷の歴史に親しみ、見て、触れて、体験して学ぶことができる施設”として開館した。

(2) 施設概要

ア 概要

所在地 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1

開館時間 9時～17時

休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始

観覧料 歴史ひろば（常設展示室）・お祭りひろば（祭り展示室）：無料
企画展示室：企画展ごとに異なる

イ 工事概要

設計監理 株式会社佐藤総合計画

建築 鴻池・角文特定建設工事共同企業体

竣工 平成30年5月31日

開館 平成31年3月24日

建設費 3,425,043千円

ウ 建物概要

構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階建

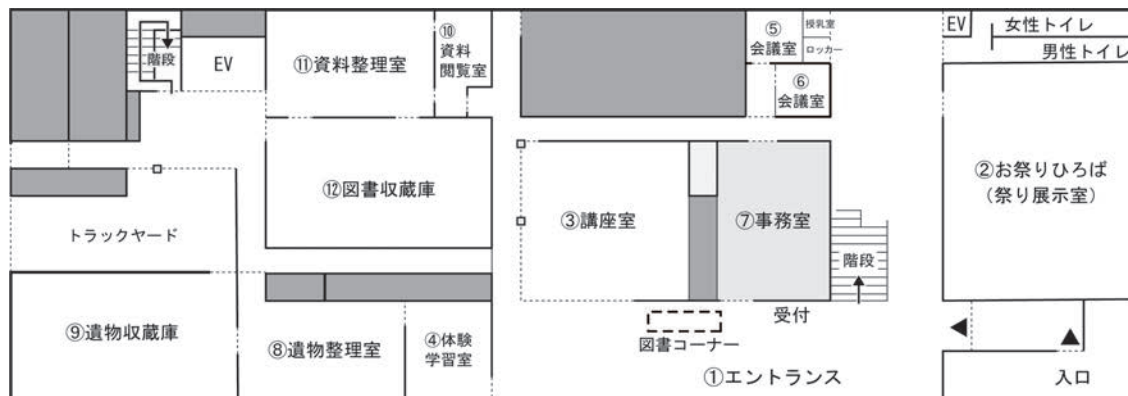
敷地面積 11,958.10 m²

建築面積 3,100.35 m²

延床面積 4,263.65 m²

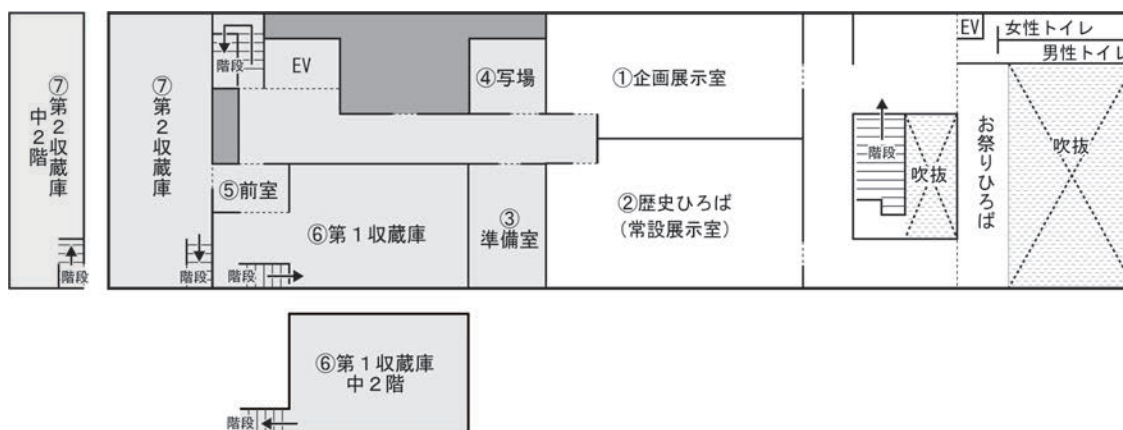
エ 諸室概要

1 階



① エントランス	270 m ²	④ 体験学習室	56 m ²	⑦ 事務室	73 m ²	⑩ 資料閲覧室	33 m ²
② お祭りひろば (祭り展示室)	235 m ²	⑤ 第1会議室	14 m ²	⑧ 遺物整理室	113 m ²	⑪ 資料整理室	91 m ²
③ 講座室	138 m ²	⑥ 第2会議室	16 m ²	⑨ 遺物収蔵庫	186 m ²	⑫ 図書収蔵庫	143 m ²

2 階



① 企画展示室	204 m ²	④ 写場	31 m ²	⑥ 第1収蔵庫	146 m ² (+ 中2階 110 m ²)
② 歴史ひろば (常設展示室)	277 m ²	⑤ 収蔵庫前室	28 m ²	⑦ 第2収蔵庫	157 m ² (+ 中2階 128 m ²)
③ 準備室	74 m ²				

2 展示事業

(1) 常設展示

ア 歴史ひろば（常設展示室）

常設展示はテーマ展示とし、刈谷の特徴的な3つの時代として「刈谷の縄文時代」「刈谷藩と城下町」「刈谷発の近代化」を設定している。年に数回展示替えを行い、収蔵資料などを公開している。

展示替え：6月30日 / 9月29日 / 1月26日

また展示替えにあわせて常設展ギャラリートークを行った。

開催日：5月17日 / 10月26日（午前・午後） / 2月21日（参加者延べ43人）

（ア） 刈谷の縄文時代～衣ヶ浦が育んだ縄文人の豊かな暮らし～ [縄文時代]

刈谷市は愛知県下でも縄文遺跡の多い地域のひとつであることから、様々な出土遺物を展示し、当時の人々の豊かな暮らしを紹介している。

a 展示テーマ

- (a) 遊動から定住へ
- (b) 縄文人の食
- (c) 縄文人の装い
- (d) 人やモノの交流
- (e) 縄文の祈り

b 主な展示資料

- (a) 縄文土器（早期・前期・中期・後期・晩期
/ 全て刈谷市内出土・当館蔵）
- (b) 盤状集骨墓（本刈谷貝塚出土・当館蔵）



ジオラマ（芋川遺跡）

（イ） 刈谷藩と城下町～初代刈谷藩主水野勝成と刈谷城下～ [戦国・江戸時代]

刈谷城の築城と歴代刈谷藩主による支配の様子、城下町・農村における庶民の暮らしや、幕末期における天誅組など、近世の刈谷の動きを紹介している。

a 展示テーマ

- (a) 水野氏の刈谷進出と於大
- (b) 刈谷城と歴代藩主
- (c) 城下と村の発展
- (d) 天誅組

b 主な展示資料

- (a) 松本奎堂肖像画（当館蔵）
- (b) 刈谷城ジオラマ（宝永～正徳期）[製作]



近世展示スペース

※タブレット端末をジオラマにかざすAR体験により、立体的に人物や背景を紹介している。

[専用のタブレット端末は無料貸出]

(ウ) 刈谷発の近代化～豊田佐吉・喜一郎が拓いたまちの発展～〔明治・大正・昭和時代〕

ものづくりの文化を持つこの地の近代化がいかんにして進んだか、自動織機試験工場誘致を軸に、刈谷町の人々が尽力した様子や近代の刈谷のまちの様子を紹介している。

また近代化に向けた教育の充実化も紹介している。

a 展示テーマ

(a) 近代化の基盤と工業都市刈谷の発展

(b) 教育文化の充実

b 主な展示資料

(a) 豊田自動織機G 3 型（当館蔵）

(b) 刈谷駅ジオラマ〔製作〕

(c) 刈谷ものがたり〔映像〕（約 20 分）

※刈谷が発展した経緯を物語仕立ての実写映像で上映。



近代展示スペース

(エ) その他

刈谷の歴史を楽しく学ぶことができるスペースを設けている。

a 「刈谷の偉人たち」

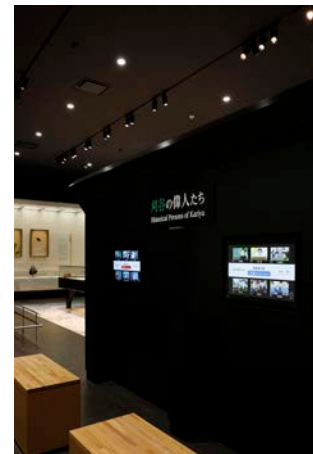
刈谷を代表する偉人達のオリジナルアニメを視聴できる。

b 「体験コーナー」

明治時代の双六を体験できる。

※縄文・近世・近代の衣装の着装体験、土器の再現パズル・

刈谷地図パズルは1階講座室に移設して実施。



「刈谷の偉人たち」

イ お祭りひろば(祭り展示室)

刈谷の特徴的な3つの祭り（大名行列・山車祭、万燈祭、野田雨乞笠おどり）について、祭礼道具の展示をはじめ、臨場感あふれる過去の祭りの映像によって紹介している。

(ア) 主な内容

a 大名行列・山車祭において実際に使用する山車2台及び「奴のねり道具」を展示。

b 万燈祭で使用する大万燈の展示のほか、万燈の担ぎ体験が可能。

c 野田雨乞笠おどり衣装及び道具を展示。



お祭りひろば（山車祭）



お祭りひろば（万燈祭）

(2) 企画展示

ア 木札の世界—木に書き残された歴史—

会 期	令和7年4月26日(土)～6月8日(日)(38日間)
会 場	企画展示室
観 覧 料	一般600円、中学生以下・障害者無料 (各種割引あり)
入 場 者 数	2,555人
出 品 点 数	62件100点(重要文化財1件、重要有形民俗文化財1件、 兵庫県指定1件、愛知県指定3件、安城市指定1件 豊明市指定2件、刈谷市指定3件)
印 刷 物	B2・B3ポスター、A4チラシ、出品目録(A4) 図録(A4・95頁・1冊1,600円)



【概要】

館蔵品や市域に伝わる高札や棟札、俳額など木の札に文字が記された資料に着目して、木札とはどういうもので、何を伝えているのかを紹介した。本市に関係する資料を複数展示したことで、地域の歴史を再認識する機会を提供することができた。また、木札は古代から現代に至るまで使用されていることから、本市関係資料だけでなく県内の指定品や重要文化財、重要有形民俗文化財に指定されている木札も借用して展示することで、古文書や歴史資料の陰で埋もれがちな木札の文化財としての価値を示すことができた。

【主な展示資料】

- ・[重要文化財] 大津百艘船関係資料のうち 新庄直頼高札ほか(大津市歴史博物館蔵)
- ・[重要有形民俗文化財] 元興寺庶民信仰資料のうち こけら経ほか(奈良市元興寺蔵)
- ・[兵庫県指定文化財] 天正七年羽柴秀吉制札(神戸市淡河本町自治会蔵、神戸市博物館寄託)
- ・[愛知県指定文化財] 三界万霊供養木札(豊橋市普門寺蔵)
- ・[豊明市指定文化財] 杓掛城址出土木札(豊明市教育委員会蔵)
- ・[刈谷市指定文化財] 野田八幡宮正安二年・慶長五年棟札(野田八幡宮蔵、野田史料館保管)

【関連行事】

(ア) 講演会 1

演 題 「歴史資料としての木札の価値」

日 時 4月27日(日) 14時～15時30分 [講座室] (聴講45人)

講 師 服部光真氏(公益財団法人 元興寺文化財研究所)

(イ) 講演会 2

演 題 「楽市と制札—淡河を中心に—」

日 時 5月11日(日) 14時～15時30分 [講座室] (聴講34人)

講 師 長澤伸樹氏(仙台市博物館)

(ウ) 展示説明会

日 時 4月26日(土) 14時～15時 [講座室] (聴講14人)

講 師 山下智也(当館学芸員)

(エ) イベント

a 木札を作ってみよう

日 時 5月31日(土) 10時～11時30分、13時30分～15時

〔講座室〕(参加者延べ8人)

講 師 山下智也(当館学芸員)

b クイズラリー

日 時 会期中〔企画展示室〕

内 容 全問正解者にオリジナルグッズを進呈(配布数:240個)。

(オ) ギャラリートーク

日 時 5月1日(木)・17日(土)・22日(木)・6月6日(金)・8日(日)

11時～12時〔企画展示室〕(参加者延べ88人)

担 当 山下智也(当館学芸員)

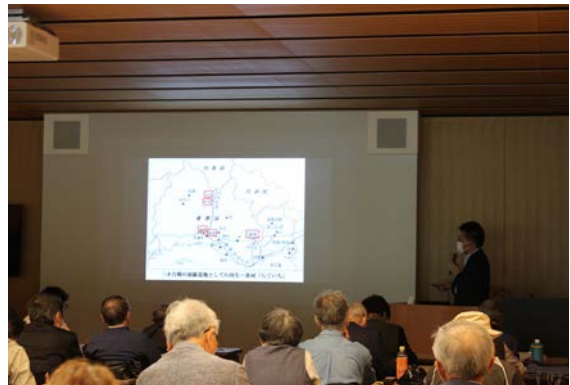
(カ) フリートークデー

日 時 4月26日(土)、5月1日(木)、31日(土)

内 容 声の大きさを気にせず鑑賞できる日を設け、展示について自由に話す機会を提供した。



講演会1「歴史資料としての木札の価値」服部光真氏



講演会2「楽市と制札―淡河を中心に―」長澤伸樹氏



ギャラリートーク



イベント「木札を作ってみよう」

イ 子どもたちの戦争

会 期	令和7年7月19日（土）～8月31日（日）（38日間）
会 場	企画展示室
観 覧 料	無料
入場者数	4,953人
出品点数	50件（83点）
印刷物	B1・B2ポスター、A4チラシ 解説パンフレット（A4・8頁・無料）



【概要】

令和7年（2025）は、昭和20年（1945）8月の終戦から80年という節目の年にあたる。日中戦争からアジア・太平洋戦争と続く中で、実際の戦場から遠くはなれた刈谷の子どもたちも、戦争の影響を受けながら日々の生活を送った。例えば、小学校が国民学校という名前に変わり、子どもたち自身も「少国民」と呼ばれ戦争との関わりで理想の姿が示されるようになった。

本展では、刈谷市内に残された資料を中心に、子どもたちの学校や家庭での暮らしと戦争との関わりを紹介した。

【主な展示資料】（全て当館蔵）

- ・軍装少年柄一つ身
- ・教育勅語
- ・亀城国民学校学校日誌
- ・週刊少国民
- ・慰問袋

【関連行事】

（ア）講演会

演 題 「モノを通した「戦争の記憶」の継承は可能か？」

日 時 7月19日（土）14時～15時30分〔講座室〕（聴講36人）

講 師 金子淳氏（桜美林大学教授）

（イ）イベント

a おはなし読み聞かせの会

日 時 7月30日（水）14時30分～15時（参加者延べ15人）

協 力 おたまじゃくしの会

b 愛知教育大学連携イベント「発見！歴史探検隊—未来に伝える わたしの語り—」

日 時 8月11日（月・祝）10時～12時（参加者15人）

〔講座室、常設展示室、企画展示室、遺物整理室〕

講 師 かりはくたい（愛知教育大学学生）

c ナイトミュージアム

日 時 8月8日（金）17時～20時

d ペーパーウェイトづくり

日 時 8月8日（金）17時～20時（参加者43人）

講 師 伊藤学（当館指導主事）

e クイズラリー

日 時 会期中〔企画展示室〕

内 容 全問正解者にオリジナルグッズを進呈（配布数：698 個）。

(ウ) ギャラリートーク

日 時 7 月 25 日（金）、8 月 24 日（日）11 時 30 分～12 時

8 月 8 日（金）19 時～19 時 30 分〔企画展示室〕（参加者延べ 47 人）

担 当 井筒康人（当館学芸員）



展示風景



おはなし読み聞かせの会



愛知教育大学連携イベント
「発見！歴史探検隊—未来に伝える わたしの語り—」



ギャラリートーク

ウ 海の縄文 山の縄文 ―自然と共生した豊かな暮らし―

会 期	令和7年10月4日(土)～11月16日(日)(37日間)
会 場	企画展示室
観 覧 料	一般600円、中学生以下・障害者無料 (各種割引あり)
入 場 者 数	2,900人
出 品 点 数	37件591点(重要文化財1件、長野県宝1件、 愛知県指定2件、岡谷市指定1件、豊田市指定2件、 南知多町指定1件、刈谷市指定1件)
印 刷 物	B1・B2・B3ポスター、A4チラシ、出品目録 図録(A4・71頁・1,500円)



【概要】

刈谷市の位置する衣浦湾沿岸や三河湾沿岸など海浜部の縄文遺跡と、奥三河や長野県など山間部の縄文遺跡の出土資料を一堂にかつ対比的に展示することで、身の回りの自然から巧みに資源を獲得し利用していた縄文人のくらしぶりや、それぞれの地域で特産品を生み出して盛んに交易をしていた当時の社会や文化について紹介した。その中で、国の重要文化財や長野県宝、愛知県指定文化財などの優れた文化財にふれる機会を提供した。

【主な展示資料】

- ・[重要文化財] 長野県神子柴遺跡出土品(個人蔵、伊那市創造館寄託)
- ・[長野県宝] 棚畑遺跡出土品(茅野市尖石縄文考古館蔵)
- ・[岡谷市指定文化財] 矢柄研磨器(市立岡谷美術考古館蔵)
- ・[愛知県指定文化財] 八王子貝塚出土品(西尾市教育委員会蔵)
- ・[愛知県指定文化財] 本刈谷貝塚出土品(刈谷市歴史博物館蔵)
- ・[南知多町指定文化財] 神明社貝塚出土品(南知多町教育委員会蔵)
- ・[豊田市指定文化財] 今朝平遺跡出土品(豊田市蔵)

【関連行事】

(ア) 講演会 1

演 題 「海の縄文～貝塚からみえるヒトの暮らし～」

日 時 10月13日(月・祝) 13時30分～15時 [講座室] (聴講 47人)

講 師 川添和暁氏(愛知県埋蔵文化財センター 調査研究専門員)

(イ) 講演会 2

演 題 「ハヶ岳西南麓の縄文文化を育んだ黒曜石と国宝土偶」

日 時 10月25日(土) 13時30分～15時 [講座室] (聴講 69人)

講 師 守矢昌文氏(茅野市尖石縄文考古館 特別館長)

(ウ) 講演会 3

演 題 「つながる縄文～刈谷市の縄文遺跡と他地域の遺跡の交流～」

日 時 11月8日(土) 13時30分～15時 [講座室] (聴講 51人)

講 師 長田友也氏(中部大学 非常勤講師)

(エ) 展示説明会

日 時 10月4日(土) 14時～15時 [講座室] (聴講 35人)

講 師 鵜飼堅証(当館専門員)

(オ) イベント

a 体験イベント「バックヤードツアーと土偶作り体験」

日 時 10月5日(日) 10時～11時30分 [講座室] (参加者20人)

講 師 河野あすか(当館学芸員)

b 体験イベント「貝輪作り体験」

日 時 10月11日(土) 14時～16時 [トラックヤード] (参加者3組6人)

講 師 増山禎之氏(田原市博物館学芸員)

c 体験イベント「石器の使用体験」

日 時 11月2日(日) 10時～11時、14時～15時 [トラックヤードほか] (参加者延べ6組17人)

講 師 野村啓輔(当館学芸員)

d さかなかるたで遊ぼう！

日 時 10月18日(土) 10時～11時、14時～15時 [講座室] (参加者延べ9人)

講 師 伊藤学(当館指導主事)

e クイズラリー

日 時 会期中 [企画展示室]

内 容 全問正解者にオリジナルグッズを進呈(配布数:330個)。

※簡単工作「海の生き物ペーパーキャップ」も開催(18頁参照)

(カ) ギャラリートーク

日 時 10月9日(木)・18日(土)・11月15日(土) 11時～12時

[企画展示室] (参加者延べ64人)

担 当 鵜飼堅証(当館専門員)

(キ) フリートークデー

日 時 10月5日(日)、18日(土)、11月3日(月・祝)

内 容 声の大きさを気にせず鑑賞できる日を設け、展示について自由に話す機会を提供した。

■本展は公益財団法人 日本海事科学振興財団の船の科学館「海の学びミュージアムサポート」からの助成を受けて開催した。



講演会1「海の縄文～貝塚からみえるヒトの暮らし～」
川添和暁氏



ギャラリートーク



石器の使用体験



貝輪作り体験 増山禎之氏

(3) 特別展示

ミニ企画展「東境村絵図」修復完了ミニ展示

会 期 令和8年3月20日(金・祝)～4月5日(日)(15日間)
会 場 企画展示室
観 覧 料 無料
入 場 者 数 1,238人
出 品 点 数 5件6点

【概要】

昭和35年(1960)発行の『刈谷市誌』にトレース図が掲載されて以降行方不明となっていた「東境村絵図」が令和6年に地区において発見され寄贈された。長らくしまい込まれて折れ・シワなど状態が悪化しつつあったことから、令和7年度に修復を実施。その完了のお披露目として同絵図を紹介し、併せて江戸時代の東境村の様子がわかる資料を展示した。再発見された貴重な資料を修復・展示し、解説したことで、地域の歴史を再認識する機会を提供することができた。



【展示資料】

- ・東境村絵図(当館蔵)
- ・[刈谷市指定文化財]陶製狛犬(祖母神社蔵、当館寄託)
- ・午御年貢皆済目録(当館蔵)
- ・覚(年貢米蔵預かりにつき)(当館蔵)
- ・中興年歴覚之帳(当館蔵)

【関連行事】

(ア) ギャラリートーク

日 時 3月20日(金・祝)・25日(水)・4月4日(土)

10時～10時30分、14時～14時30分(参加者延べ48人)

担 当 山下智也(当館学芸員)



展示風景



ギャラリートーク

3 教育普及事業

(1) 講演会・講座等

ア 講演会（企画展関連講演会）会場：講座室

開催日	演題	講師	人数
4月27日	「歴史資料としての木札の価値」	服部光真氏（公益財団法人元興寺文化財研究所）	45
5月11日	「楽市と制札―淡河を中心に―」	長澤伸樹氏（仙台市博物館）	34
7月19日	「モノを通した「戦争の記憶」の継承は可能か？」	金子淳氏（桜美林大学教授）	36
10月13日	「海の縄文 ～貝塚からみえるヒトの暮らし～」	川添和暁氏（愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員）	47
10月25日	「八ヶ岳西南麓の縄文文化を育んだ 黒曜石と国宝土偶」	守矢昌文氏（茅野市尖石縄文考古館特別館長）	69
11月8日	「つながる縄文～刈谷市の縄文遺跡と 他地域の遺跡の交流～」	長田友也氏（中部大学 非常勤講師）	51

イ 展示説明会（企画展関連）会場：講座室

開催日	演題	講師（当館学芸員）	人数
4月26日	企画展「木札の世界」	山下智也	14
10月4日	企画展「海の縄文 山の縄文」	鵜飼堅証	35

ウ 歴博ゼミナール 会場：講座室

開催日	演題	講師	人数
2月1日	三浦氏と刈谷藩	池内敏氏 （名古屋大学名誉教授）	75

エ 古文書解読講座（中級編 連続講座）（受講者数19人）会場：講座室

開講日	内容	講師（当館学芸員）
1月10日	第1回 江戸時代の版本を読む	長澤慎二
1月24日	第2回 古文書の言い回しに慣れる	長澤慎二
2月7日	第3回 明治時代の古文書を読む	井筒康人
2月21日	第4回 江戸時代の古文書を読む①	山下智也
3月7日	第5回 江戸時代の古文書を読む②	山下智也

オ 出前講座

開催日	団体名	講師（当館学芸員）	人数
4月9日	刈谷ふるさとガイドボランティアの会	河野あすか	25
5月21日	傳兵衛クラブ刈谷	水野節子	34
8月27日	刈谷ふるさとガイドボランティアの会	野村啓輔	23
12月10日	刈谷ふるさとガイドボランティアの会	鵜飼堅証	24
3月14日	野田史料館	山下智也	93

(2) 博学連携

ア 市内学校見学受け入れ

(ア) 市内小学校社会科（児童数計 454 人、引率教員計 18 人、合計 472 人）

見学日	学校名	学年	児童数	内容
6 月 18 日、19 日	亀城小学校	3	128	見学：常設展 講義：「万燈祭の歴史」（講座室）
10 月 10 日	富士松南小学校	3	121	見学：常設展
10 月 16 日	衣浦小学校	4	102	見学：常設展 講義：「万燈祭の歴史」（講座室）
10 月 28 日	亀城小学校	2	103	見学：常設展 講義：「博物館の役割」（講座室）

(イ) 市内中学1年生（生徒数計 1,322 人、引率教員計 74 人、合計 1,396 人）

見学日	学校名	生徒数	内容
5 月 8 日、9 日 13 日、16 日 (4 日間)	雁が音中学校	256	見学：企画展「木札の世界」 常設展、遺物整理室 講義：「博物館の役割と企画展のみどころ解説」 (講座室)
5 月 20 日～22 日 (3 日間)	朝日中学校	191	
5 月 27 日、28 日、30 日 (3 日間)	富士松中学校	190	
6 月 3 日～6 日 (4 日間)	刈谷南中学校	243	
6 月 24 日～27 日 (4 日間)	刈谷東中学校	206	見学：常設展、遺物整理室 講義：「博物館の役割と学区の歴史」（講座室）
7 月 1 日～4 日 (4 日間)	依佐美中学校	236	

(ウ) 市内その他

見学日	学校名	人数	内容
5 月 15 日	愛知県立刈谷高等学校 2 年生探究系	18	見学：常設展 講義：「刈谷市の成り立ち（講座室）」
7 月 23 日	愛知県立刈谷高等学校 附属中学校 1 年生	35	見学：企画展「子どもたちの戦争」 常設展、バックヤード 講義：「刈谷の遺跡と遺物整理室の仕事」 「古文書の読み方」
10 月 29 日、30 日		76	見学：企画展「海の縄文 山の縄文」 常設展

イ 職場体験受け入れ状況について

(ア) 市内中学校 2 年生職場体験学習（参加生徒数計 14 人）

期間	学校名	人数	業務内容（下記参照 / (1) は該当なし）					
			(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
10 月 22 日、24 日（2 日間）	富士松中学校	3	△	○	○	△	○	△
11 月 5 日～7 日（3 日間）	刈谷南中学校	3	○	○	○	○	○	△
1 月 14 日～16 日（3 日間）	刈谷東中学校	3	○	○	○	○	○	○

期間	学校名	人数	業務内容（下記参照 / (1) は該当なし）					
			(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
1 月 21 日～ 23 日（3 日間）	依佐美中学校	2	○	○	○	○	○	○
1 月 27 日～ 29 日（3 日間）	雁が音中学校	3	○	○	○	○	○	○

(イ) 大学生インターンシップ（参加学生数計 4 人）

期間	学校名	人数	業務内容 （下記参照 / 4・5・7 は該当なし）			
			(1)	(2)	(3)	(6)
8 月 1 日	愛知大学	1			○	○
9 月 17 日～ 19 日、26 日、27 日 （5 日間）	愛知教育大学	2	○	○	○	○
2 月 11 日	名古屋大学	1			○	○

* 参照：業務内容

【博物館業務】	【その他】
(1) 受付	(5) 調査・発信
(2) 見学学習補助（アウトリーチ補助・資料館体験等）	(6) 収蔵庫見学
(3) イベント補助（簡単工作等）	(7) 館内清掃
【埋蔵文化財業務】	
(4) 遺物整理（土器洗浄、接合、拓本とり）	

ウ 教育支援

(ア) 夏休み子ども歴史相談

開催日	人数	内容
7 月 29 日	9	歴史をテーマとする夏休みの課題などの調べ方、まとめ方を指導主事および学芸員が紹介
8 月 6 日	13	

(イ) アウトリーチプログラム（市内小中学校）

講師 伊藤学（当館指導主事）

開催日	学校名	人数	内容
6 月 17 日	衣浦小学校 6 年生	90	「本刈谷貝塚」
7 月 11 日	刈谷南中学校 3 年生	152	「戦時中の刈谷の子どもたち」
9 月 11 日	小垣江小学校 4 年生	108	「東海豪雨における刈谷の被害」
9 月 25 日	亀城小学校 4 年生	59	
9 月 25 日	小高原小学校 6 年生	101	「戦時中の刈谷の子どもたち」
10 月 7 日	富士松南小学校 3 年生	115	「公共施設としての博物館」
10 月 9 日	住吉小学校 4 年生	144	「刈谷とトヨタのつながり」
10 月 17 日	富士松東小学校 6 年生	60	「刈谷城と水野勝成」
10 月 29 日	住吉小学校 6 年生	125	「戦時中の刈谷の子どもたち」
11 月 11 日	刈谷南中学校特別支援学級	26	
2 月 4 日	小垣江東小学校 6 年生	33	
3 月 5 日、6 日	かりがね小学校 3 年生	140	「今の刈谷市ができるまで」

エ 教員見学

見学日	学校名	人数	内容
5月8日 (夜間)	刈谷市内社会科教員	24	見学：企画展「木札の世界」のギャラリートーク 講義：指導主事による授業プラン提案
7月23日 (夜間)	刈谷市内社会科教員	36	見学：企画展「子どもたちの戦争」のギャラリートーク 講義：指導主事による授業プラン提案
8月7日	刈谷市内初任者研修	52	見学：常設展、企画展「子どもたちの戦争」 遺物整理室
10月9日 (夜間)	刈谷市内社会科教員	23	見学：企画展「海の縄文 山の縄文」ギャラリートーク 講義：指導主事による授業プラン提案

オ 愛知教育大学との連携事業

(ア) 地域協働教育体験活動授業

参加学生人数 24人

講師 河野あすか（当館学芸員）

a 日時 6月25日（水）

内容 井ヶ谷古窯の概要と構内の松根第3号窯の保存活用について、当館学芸員が授業を行った。

b 日時 8月2日（土）

内容 歴史博物館見学ツアー

(イ) 発見！歴史探検隊—とものつくり刈谷の歴史

日時 8月11日（月・祝）

講師 かりはくたい（愛知教育大学学生 15人）

参加人数 公募による一般イベント参加者 15人

内容 企画展「戦時下の子どもたち」の関連イベントとして開催。博物館内を探検し、解説を聞きながらワークシートに取り組み、最後に参加者が発表を行った。

(ウ) 愛知教育大学留学生ツアー

日時 1月21日（水）

参加人数 学生ボランティアガイド 4人

留学生 8人（英語グループ 6人、日本語グループ 2人）

内容 当館学芸員及び指導主事が日本人学生ボランティアに刈谷の歴史など事前研修を行った上、学生による留学生の歴史博物館見学ガイドツアーを実施した。



愛知教育大学留学生ツアー

カ 博物館実習 （参加学生数計 7人）

期 間 8月6日～8日、10日、13日（5日間）

学校名 愛知大学（2人）、愛知学院大学（1人）、京都女子大学（1人）、静岡大学（1人）、
中部大学（1人）、同朋大学（1人）

①	概要説明	[講義] 博物館の概要に関する説明
②	施設見学	歴史博物館の館内・バックヤード見学
③	郷土資料館見学	郷土資料館の館内見学
④	資料取扱・梱包	[実習] 美術工芸資料の取扱、輸送のための梱包
⑤	写真撮影	[実習] 古文書・美術工芸資料の撮影
⑥	埋文作業	[実習] 考古資料の取扱、整理
⑦	埋蔵文化財説明	[講義] 埋蔵文化財行政の実務について
⑧	刈谷の歴史	[講義] 刈谷の通史
⑨	イベント準備・補助	[実習] ナイトミュージアムのイベント補助
⑩	ディスカッション	博物館の事業をテーマにしたプレゼンテーション
⑪	資料整理作業	[実習] 古文書等の取扱、整理



④資料取扱・梱包



⑥埋文作業



⑪資料整理作業

(3) 参加体験講座

ア 歴史体験講座

5月から2月にかけて、月に一度、歴史に関する体験講座を開講した。(外部委託)

場所 体験学習室 又は 講座室

開催日	時間	講座名	参加料	参加者数
5月24日	第1回 10時～12時 第2回 13時～15時	はじめての水墨画体験	500円	29
6月29日	第1回 10時30分～11時30分 第2回 13時～14時	香袋を作ろう（お香入門）	2,000円	23
7月25日	第1回 10時30分～11時30分 第2回 13時～14時	食品サンプル	1,500円	35
8月24日	第1回 10時30分～11時30分 第2回 13時～14時	有松・鳴海絞り体験	ハンカチ 1,500円 手ぬぐい 1,800円	15
9月26日	第1回 10時30分～11時30分 第2回 13時～14時	己書	500円	13
10月19日	第1回 10時30分～11時30分 第2回 13時～14時	アングイン編み	50円	19
11月22日	第1回 10時～12時 第2回 13時～15時	クラフトバンドリースしめ縄づくり	1,000円	18
12月21日	第1回 10時～12時 第2回 13時～15時	組みひもストラップづくり	1,000円	18
1月25日	第1回 10時～12時 第2回 13時～15時	日本刺繍で帯留め・ブローチを作ろう	2,000円	32
2月22日	第1回 10時～12時 第2回 13時30分～15時30分	姫着物づくり体験	1,500円	16
延べ参加人数				218



「アングイン編み」



「日本刺繍で帯留め・ブローチを作ろう」

イ 簡単工作

手軽に体験できる工作を土日祝日に開催した。夏休み期間中（7月29日～8月1日）、あいちウィーク期間中（11月21日～27日）は平日も開催。

メニューは3ヶ月ごとに更新し、再来館を促すためポイントカードを配布した。（配布枚数 993 枚）

場所 体験学習室

時間 9時～17時

期間	講座名	参加料	参加者数
4月5日～6月29日	カラフルまが玉	300 円	389
	折り紙「手裏剣」	無料	313
4月19日～5月5日	紙コップこいのぼり	100 円	38
7月5日～9月28日	オリジナルうちわ	300 円	143
	折り紙「はと」	無料	293
7月19日～8月31日	ガラス風鈴	500 円	412
7月29日～8月1日	キューブパズル	無料	38
8月8日	ペーパーウェイト	200 円	43
10月4日～11月16日	しおり	200 円	95
	海の生き物ペーパーキャップ	100 円	43
10月4日～12月28日	手回しゴマ	300 円	212
	折り紙「お城」	無料	205
11月21日～11月27日	キューブパズル	無料	18
1月4日～3月29日	はにわストラップ	200 円	410
	折り紙「だるま」	無料	255
1月31日～3月1日	ひなかざり	200 円	44
延べ参加人数			2,951

ウ 子ども歴史体験講座

対象：小学1年生～小学6年生

開催日	内容	場所	参加料	参加者数
6月22日	バックヤードツアーと家紋風コースターづくり	講座室、遺物整理室、 遺物収蔵庫	200 円	24
8月2日	企画展「戦時下の子どもたち」のギャラリー トークと拓本ランプづくり、バックヤードツアー	講座室、遺物整理室、 遺物収蔵庫、企画展示室	800 円	15
11月3日	企画展「海の縄文 山の縄文」のギャラリー トークと海のスノードームづくり	講座室、企画展示室	500 円	25

エ シアター

(ア) 講座室上映

刈谷ゆかりの人物や事柄、企画展に関する映像を上映した。

期間	タイトル
～ 4 月 25 日	ビデオ広報かりや No.89 「よみがえる昭和の思い出」
4 月 26 日～ 7 月 11 日	ビデオ広報かりや No.81 「刈谷市政ニュース」
7 月 12 日～ 7 月 27 日	刈谷市市制施行75周年 PR 動画（刈谷の歴史文化編）
7 月 29 日～ 8 月 24 日	ビデオ広報かりや No.18 「刈谷の歴史を語る② 野田雨乞笠おどり～現代に甦る古人の情念～」
8 月 26 日～ 10 月 5 日	ビデオ広報かりや No.53 「歴史の小径④ ～高津波・小山編～」
10 月 7 日～ 12 月 28 日	刈谷市市制施行75周年 PR 動画（にぎわいの創出編）
1 月 4 日～ 3 月 19 日	ビデオ広報かりや No.107 「刈谷の歴史をたずねて ～徳川家康の生母、於大～」
3 月 20 日～	アジア・アジアパラ競技大会PR動画

(4) その他イベント

ア 甲冑試着体験

甲冑レプリカを着用し歴史博物館敷地内を散策、記念撮影。

日 時 4 月 29 日（火・祝）

参加者 49 人

協力 東浦町商工会 手づくりよろいの会

イ 国際博物館の日イベント

5 月 18 日（日）の国際博物館の日を記念し、オリジナルしおり（23 枚）を進呈。

期 間 5 月 18 日（日）～ 5 月 25 日（日）

ウ ダンボールかぶとづくり体験

親子で協力してダンボールかぶとを作るワークショップ。

日 時 7 月 30 日（水）

参加者 24 人

エ 石器づくり体験

縄文時代の技術で石器を作る体験。

日 時 2 月 11 日（水・祝）

参加料 500 円

参加者 9 人

講師 野村啓輔（当館学芸員）

オ 刈谷城盛上げ隊定期出演

刈谷城盛上げ隊によるクイズやゲームを開催。

出演回数 9 回

(5) 連携イベント

ア シーホース三河コラボイベント

※ 2025-26SEASON シーホース三河ホームゲーム観戦チケット（半券可）の掲示で企画展「海の縄文 山の縄文」割引

期 間 10月4日（土）～11月16日（日）

イ 《歴博&郷土資料館コラボ企画》クイズラリー「歴博&資料館からの挑戦状！」

期 間 3月20日（金・祝）～4月12日（日）

参加者 144人

ウ ブレイヴキングス刈谷コラボイベント

（ア）ブレイヴキングス・歴博コラボのオリジナルデザインの缶バッジ制作を無料で体験。

日 時 3月28日（土）

参加者 263人

（イ）選手（バナー）と一緒に記念撮影

期 間 3月1日（月）～3月28日（土）

※ブレイヴキングス刈谷のリーグH 2025-26 ホームゲーム観戦チケット（半券可）ご提示で企画展「海の縄文 山の縄文」割引

期 間 10月4日（土）～11月16日（日）

(6) 特別イベント

ア 刈谷市市制施行 75 周年記念行事

（ア）「刈谷市の過去の周年行事と刈谷のお茶文化」展示

刈谷市のこれまでの周年行事の振り返りと、10月26日開催「秋の和み茶会」に関連し、刈谷でのお茶文化の歴史を振り返る特別展示を開催。

期 間 10月4日（土）～1月25日（日）

場 所 歴史ひろば（常設展示室）

入 場 料 無料

（イ）常設展ギャラリートーク

当館学芸員が、特別展示「刈谷市の過去の周年行事と刈谷のお茶文化」について、資料を見ながら解説。

日 時 10月26日（日）11時～11時30分、14時～14時30分

場 所 歴史ひろば（常設展示室）

参加者 延べ23人

（ウ）「刈谷市のあゆみ」特別パネル展示

刈谷市が歩んだ歴史や町の変化、市民の姿をパネルで紹介。

期 間 10月4日（土）～12月28日（日）

場 所 エントランス

（エ）刈谷市市制施行75周年記念「秋の和み茶会」

日 時 10月26日（日）10時～15時（10席・各席30分）

場 所 講座室

参加者 延べ247人

呈 茶 券 前売券400円／当日券500円

協 力 刈谷茶好会

イ 《アジア・アジアパラ競技大会開催記念》

「みんなで振り返ろう！スポーツ史あれこれ」展示

来館者にスポーツに関する思い出を書いてもらう参加型展示を行った。また、スポーツ史に関連するもの（写真パネルなど）を何点か展示を行った。

期 間 3月20日（金・祝）～4月12日（日）（24日間）

場 所 講座室

（7）出張イベント

ア 長篠・設楽原の戦い450周年事業『戦国博覧会』出張ブース出展

天正3年（1575）に新城市で行われた「長篠・設楽原の戦い」450年行事に、ゆかりのある刈谷市として地域交流、また歴史博物館のPRとしてブース出展を行った。図録、御城印、刈谷城関連グッズを販売。

日 時 8月30日（土）9時30分～17時00分

場 所 新城文化会館（主催 新城市）



「甲冑試着体験」



「石器づくり体験」



刈谷市市制施行75周年記念「秋の和み茶会」

4 管理・運営

(1) 組織（令和8年3月31日現在）



(2) 職員

館長	鈴木隆	学芸員	鵜飼堅証 [考古]
館長代理	新田温子		長澤慎二 [歴史]
指導主事	伊藤学		井筒康人 [歴史]（郷土資料館兼務）
事務職員	川瀬由佳		河野あすか [考古]
	八田茉優		水野節子 [歴史]
	伊藤なつき		永井優香子 [美術]
	石川友香		山下智也 [歴史]
			野村啓輔 [考古]

(3) 令和7年度決算

ア 歳出

項目	決算額（円）	摘要
社会教育総務費	11,201,980	市史資料整理費等
文化財保護費	27,144,675	埋蔵文化財調査、文化財保存事業補助金等
歴史博物館費	113,273,126	企画展開催、施設管理、教育普及等

イ 歳入

項目		決算額（円）	摘要
財産収入	土地建物貸付収入	191,475	自動販売機設置等
諸収入	負担金、補助及び交付金	9,980,960	日本海事科学振興財団支援金、発掘調査費負担金
	歴史博物館事業収入	2,084,500	簡単工作参加料、入場料
	雑入	2,415,510	冊子等頒布収入、講座受講料等

(4) 刈谷市歴史博物館協議会

ア 歴史博物館協議会委員（敬称略、順不同、令和8年3月31日現在）

会 長	西宮秀紀	（愛知教育大学名誉教授）
委 員	堀江登志実	（元岡崎市美術博物館副館長）
	山本智子	（公益財団法人瀬戸市文化振興財団）
	山田孝	（刈谷市文化財保護審議会会長）
	真島聖子	（愛知教育大学准教授）
	金子一郎	（刈谷市校長会・朝日小学校長）
	戸田和晃	（刈谷市教育研究会社会科教育部会・富士松中学校教諭）
	和田誠	（刈谷市小中学校 PTA 連絡協議会副会長）
	近藤香代子	（刈谷市女性の会連絡協議会副会長）
	成田年秀	（元トヨタ産業技術記念館副館長）

イ 開催状況

	開催日	議題	場所
第1回	5月15日	(1) 令和6年度の状況について (2) 令和7年度の予定について	歴史博物館 1階講座室
第2回	3月8日	(1) 令和7年度（令和8年1月まで）の状況について (2) 令和8年度の予定について	歴史博物館 1階講座室

(5) 刈谷市文化財保護審議会

ア 文化財保護審議会委員（敬称略、順不同、令和8年3月31日現在）

会 長	山田孝	（元小学校校長）
委 員	渡部貫道	（元高等学校教員・楞嚴寺住職）
	松原啓治	（元中学校校長）
	川崎みどり	（日本考古学協会会員）
	鷹巣純	（愛知教育大学教授）
	平野仁也	（東海学園大学准教授）
	神谷真佐子	（豊田市遺跡調査会会員）

イ 開催状況

(ア) 会議

	開催日	議題	場所
第1回	5月23日	(1) 令和7年度刈谷市文化財保護審議会開催計画について (2) 県内研修の開催について (3) 令和7年度文化財保護関係事業計画について	歴史博物館 1階講座室
第2回	8月29日	(1) 県内研修の日程について (2) 市指定文化財について	歴史博物館 1階講座室
第3回	11月13日	(1) 文化財防火デー防火訓練について	歴史博物館 1階講座室
第4回	1月27日	(1) 県内研修の振り返りについて (2) 文化財防火訓練について	歴史博物館 1階講座室
第5回	3月25日	(1) 令和7年度文化財保護審議会開催状況について (2) 令和7年度文化財保護関係事業実施状況について	歴史博物館 1階講座室

(イ) 研修等

開催日	実施事業	場所
12 月 26 日	県内研修	愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所 愛知県陶磁美術館

【参考】

刈谷市内の指定・登録文化財件数（令和 8 年 3 月 31 日現在）

種別		指定別			計
		国	県	市	
有形文化財	建造物	0	0	1	1
	絵画	0	3	9	12
	彫刻	0	2	8	10
	工芸品	0	0	8	8
	書跡	0	3	8	11
	典籍	0	0	1	1
	古文書	0	0	10	10
	考古資料	0	1	11	12
民俗文化財	有形	0	0	6	6
	無形	0	1	3	4
記念物	史跡	0	1	13	14
	天然記念物	1	0	2	3
合計		1	11	80	92
登録文化財	建造物	4	0	0	4
	歴史資料	0	1	0	1
	考古資料	0	1	0	1

(6) 野田雨乞笠おどり調査委員会

ア 野田雨乞笠おどり調査委員会委員（敬称略、順不同、令和 8 年 3 月 31 日現在）

会 長 鬼頭秀明 （中京大学非常勤講師）
 委 員 服部誠 （日本民俗学会会員）
 久志本まどか （四日市市文化財保護審議会委員）
 松原啓治 （刈谷市文化財保護審議会委員）
 上井有理 （岐阜民俗学研究会会員）
 アドバイザー 村瀬典章 （元刈谷市文化観光課学芸員）

イ 開催状況

(ア) 会議

	開催日	議題	場所
第 1 回	5 月 29 日	(1) 会長の選任について (2) 令和 7 年度野田雨乞笠おどり調査委員会開催計画について (3) 調査報告書作成にかかる調査分担について	歴史博物館 1 階講座室
第 2 回	9 月 18 日	(1) 委員及びアドバイザーによる調査報告 (2) 10 月以降の調査及び記録撮影等の予定について	歴史博物館 1 階講座室
第 3 回	3 月 11 日	(1) 委員及びアドバイザーによる調査報告 (2) 令和 8 年度以降の調査及び記録撮影等の予定について	歴史博物館 1 階講座室

(7) 利用状況

ア 入館者数・入場者数

	開館日数	入館者数	各展示室 入場者数			
			常設展示室	祭り展示室	企画展示室	(開催日数)
4 月	26	4,348	2,356	2,533	206	(4 日)
5 月	27	4,029	2,447	2,361	1,733	(27 日)
6 月	25	2,314	1,642	1,367	616	(7 日)
7 月	27	3,055	2,132	1,808	1,548	(11 日)
8 月	27	4,028	2,981	2,388	3,405	(27 日)
9 月	24	1,929	1,322	1,147	—	—
10 月	27	4,131	2,369	1,812	1,613	(25 日)
11 月	25	2,971	2,074	1,426	1,287	(14 日)
12 月	24	1,078	1,078	1,078	—	—
1 月	24	1,663	1,242	1,156	—	—
2 月	23	1,806	1,092	799	—	—
3 月	26	3,879	2,011	1,967	804	(10 日)
合計	305	35,231	22,746	19,842	11,212	(125 日)

※ 11 月 1 日 近隣にて KARIYA 大演会開催により特別休館

※ 3 月 20 日～4 月 5 日「東境村絵図」修復特別公開

イ 企画展入場者数

企画展名	期間	開催日数	入場者数
木札の世界—木に書き残された歴史—	4 月 26 日～6 月 8 日	38 日	2,555
子どもたちの戦争	7 月 19 日～8 月 31 日	38 日	4,953
海の縄文 山の縄文—自然と共生した豊かなくらし—	10 月 4 日～11 月 16 日	37 日	2,900

ウ 資料閲覧室利用状況

	入室者数	閲覧者数	閲覧資料件数		入室者数	閲覧者数	閲覧資料件数
4 月	119	16	48	10 月	89	30	91
5 月	107	34	86	11 月	101	27	91
6 月	60	21	36	12 月	54	26	189
7 月	147	25	126	1 月	80	27	100
8 月	153	26	180	2 月	65	22	40
9 月	88	28	39	3 月	126	25	40
合計	1,189	307	1,066				

エ 視察・見学利用（27 件 延べ 516 人）

来館日	団体名	人数
4 月 4 日	愛知県秘書課	5
4 月 10 日	角文株式会社	16
5 月 27 日	コトナスキノレト	16
6 月 13 日	全国埋蔵文化財法人連絡協議会	27
7 月 15 日	刈谷市民生委員第 2 福祉部会	24
7 月 15 日	特別養護老人ホーム東和荘	10
7 月 31 日	東吉野村交流事業（訪問児童事前学習会）	10
8 月 9 日	市民が主役！プロジェクト	8
9 月 14 日	刈谷市国際交流協会 日本語教室	32
10 月 4 日	あおぞら歴史教室（安城市文化振興課）	21
10 月 5 日	ミササガ市副市長	6
10 月 15 日	一宮市萩原公民館	45
10 月 17 日	特別養護老人ホーム洲原ほーむ	7
10 月 26 日	南山大学人類学博物館	10
11 月 5 日	津島市民生委員・児童委員協議会	14
11 月 7 日	刈谷市小中学校 PTA 連絡協議会 家庭教育部会	29
11 月 7 日	親愛の里保育園	50
11 月 9 日	愛知県立大学 日本文化学部歴史文化学科	12
11 月 23 日	刈谷市国際交流協会 国際イベントグループ	12
11 月 26 日	奈良県安堵町区長会	7
11 月 27 日	東大阪市 人権文化部 文化室文化財課	5
1 月 14 日	親愛の里保育園	25
1 月 20 日	火曜会	12
1 月 30 日	トヨタ車体株式会社 リスクマネジメント部	18
2 月 20 日	刈谷ふるさとガイドボランティアの会	48
2 月 26 日	JA 愛知北女性部 扶桑支部	37
3 月 21 日	静岡県伊豆の国市 浮橋まちづくり	10

※ 13 ～ 15 頁（2）博学連携事業に記載した学校・研修等は除く。

（8）広報・出版物・販売物

ア 博物館事業の啓発・広報

- （ア）公式ホームページ
- （イ）公式 X（旧 Twitter）
- （ウ）市民だより

刈谷市広報広聴課が発行する広報紙「市民だより」に企画展や関連するイベント情報のほか、歴史体験講座の募集要項等を随時掲載。また、毎号収蔵品等の紹介コラム「歴史散歩」（～令和 7 年 9 月 1 日号）、「かりや歴史探訪」（令和 7 年 10 月号～）、イベント情報などを定期発信する「博物館かわら版」（～令和 7 年 9 月 1 日号）を連載。

イ 刊行物

(ア) 機関誌

a 歴史博物館ニュース（無料）

企画展の案内や展示資料に関する小論等を掲載。令和7年度は3回発行した。

b 年報（A4・60頁・無料）

第6号（令和6年度）令和7年10月1日発行

博物館の概要・組織、その年度の予算・実施事業・活動結果などを掲載。

c 研究紀要（A4・66頁・600円）

第6号 令和7年度 令和8年3月31日発行

刈谷の歴史に関わる調査研究や、博物館の活動成果を掲載。

[研究ノート]	
海路図に関する一考察 ―館蔵海路図を中心に―	山下智也
東唐池1号窯の須恵器 ―刈谷市所蔵の谷沢資料から―	河野あすか
[資料紹介]	
『尾陽古戦場書拔』	山下智也
新出の水野忠重書状〔翻刻〕	山下智也
刈谷町誌	村瀬典章

d かわら版（A4・2頁・無料）

イベント周知のためのチラシを作成し、市内小学校に配布。令和7年度は3回発行した。

(イ) 図録・解説パンフレット

a 有料 図録

・「木札の世界」

令和7年4月26日発行（A4・95頁・1,600円）

・「海の縄文 山の縄文」

令和7年10月4日発行（A4・71頁・1,500円）

b 無料 解説パンフレット

・「子どもたちの戦争」

令和7年7月19日発行（A4・8頁・無料）

(ウ) 報告書

令和7年度は発行なし

ウ 販売物

(ア) 書籍

タイトル	価格（円）
刈谷市史 第1巻 本文編（原始・古代・中世）	1,800
刈谷市史 第2巻 本文編（近世）	1,800
刈谷市史 第3巻 本文編（近代）	1,800
刈谷市史 第4巻 本文編（現代）	1,800
刈谷市史 第5巻 資料編（自然・考古）	1,800
刈谷市史 第6巻 資料編（近世）	1,800
刈谷市史 第7巻 資料編（近代）	1,800
刈谷市史 年表	1,800
刈谷市史 別巻	1,800
刈谷市史 索引	600

タイトル	価格（円）
研究紀要 第1号	500
研究紀要 第2号	500
研究紀要 第3号	500
研究紀要 第4号	600
研究紀要 第5号	600
研究紀要 第6号	600
刈谷城築城 480 年記念展図録	800
開館記念企画展「初代刈谷藩主 水野勝成展」図録	600
企画展「徳川家康の遺産～徳川美術館所蔵品で綴る～」パンフレット	300
企画展「豊臣秀次－刈谷に新時代をもたらした関白殿下－」図録	1,000
企画展「伊勢物語とかきつばた」図録	1,500
企画展「深溝松平家展一家忠・忠利・忠房と刈谷」図録（販売終了）	1,200
企画展「北斎漫画―驚異の眼・驚異の筆―」図録	2,000
企画展「姫たちの想い～家康を支えた水野家の女性たち～」図録	1,500
企画展「めでたきとり」図録	2,000
企画展「刈谷生まれの雪の殿さま 土井利位」図録	1,200
企画展「木札の世界」	1,600
企画展「海の縄文 山の縄文」	1,500
築地貝塚遺物概報	800
中条遺跡発掘調査報告書 1（平成 9 年度調査）	1,700
中条遺跡発掘調査報告書 2（平成 10 年度調査）	2,500
中条遺跡発掘調査報告書 3（平成 11 年度調査）	2,500
中条遺跡発掘調査報告書 4（平成 12 年度調査）	2,500
愛知県指定史跡 本刈谷貝塚確認調査報告書（販売終了）	2,000
中手山貝塚発掘調査報告書	1,500
井ヶ谷古窯跡群分布調査報告書（販売終了）	1,000
宮東第 1 号貝塚埋蔵文化財調査報告書（平成 10 ～ 28 年度調査）	1,500
刈谷城跡確認調査報告書―亀城公園再整備事業に伴う埋蔵文化財調査―	2,000
宮東第 1 号貝塚発掘調査報告書（平成 30 年度調査）	1,200
刈谷市指定文化財「鉄錆地塗紺糸絨塗込込胴具足・尉頭形兜」修復・調査報告書	1,500
刈谷市歴史博物館要覧	1,000

(イ) DVD

タイトル		価格（円）
刈谷偉人伝 (全 6 巻)	その 1 幕末をかけぬけた刈谷の志士たち～維新の魁 天誅組～	各 1,000
	その 2 初代刈谷藩主 水野勝成物語～鬼日向と呼ばれたお殿さま～	
	その 3 フェライトの父 加藤与五郎～ふるさと刈谷を愛しつづけた日本のエジソン～	
	その 4 森銑三と森三郎兄弟～ふるさと刈谷で育まれた固い絆～	
	その 5 刈谷に夢をかけた豊田佐吉と喜一郎～親子で紡いだモノづくりの心～	
	その 6 徳川家康の生母・於大～知恵と愛情で戦国の世を生き抜いた～	
甦る刈谷城～復元 CG 刈谷城と城下町～		1,000

(ウ) オリジナルグッズ

博物館オリジナルグッズ(所蔵品オリジナルポストカード、企画展関連商品等)を製作・販売。

エ その他

(ア) 無料配布物 (パンフレット等)

a 歴史の小径

(小垣江・重原・野田)

(東海道・鎌倉街道周辺)

(井ヶ谷)

(城下町)

(高津波・小山・一ツ木・築地・恩田)

(城下町周辺)

(刈谷城・天誅組)

b 森銃三と森三郎兄弟(解説)

c 水野勝成(解説)

d 刈谷城現況対照図・正徳期頃の城郭位置図

e 刈谷市郷土資料館(施設案内)

Ⅱ 郷土資料館事業

1 沿革・施設概要

(1) 沿革

亀城尋常高等小学校の本館として昭和3年に竣工した。愛知県技師を経て刈谷で建築事務所を営んだ大中肇が設計した。鉄筋コンクリート造瓦葺2階建てで、小屋組や床などは木造の混構造となっている。

昭和55年5月1日に郷土資料館として開館し、平成11年には刈谷市第一号の国の登録有形文化財（建造物）となった。平成22年に耐震改修工事を行い、翌年4月29日のリニューアルに際して昭和30年代の一般家庭の部屋や教室の再現展示を始めた。



(2) 施設概要

ア 概要

所在地 愛知県刈谷市城町1丁目25番地1

開館時間 9時～17時

休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始

観覧料 無料

指定等 国登録有形文化財（建造物）平成11年2月17日告示

イ 建物概要

構造 鉄筋コンクリート造瓦葺 一部木造 地上2階建

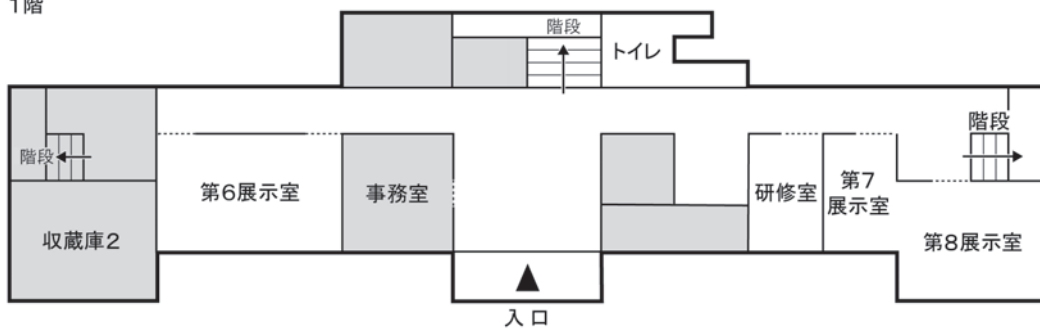
敷地面積 2,477 m²

建築面積 780 m²

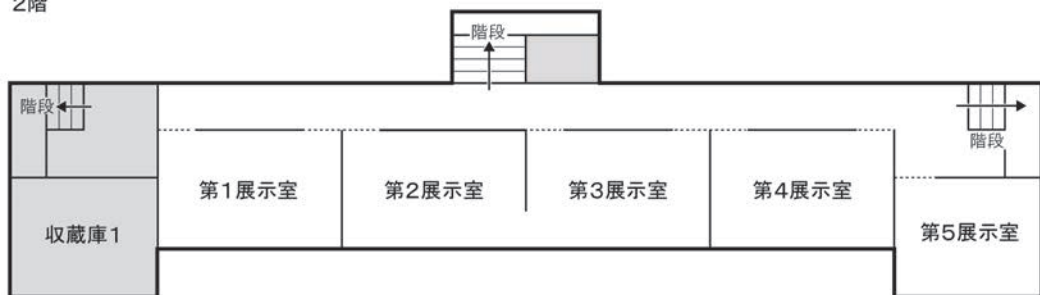
延床面積 1,461 m²

ウ 諸室概要

1階



2階



2 展示事業

(1) 常設展示

ア 第1展示室

「教育の部屋」として、郷土資料館の前身である亀城小学校を中心とした刈谷の近代教育について展示している。

イ 第2展示室

「土地利用の変化と農具の変遷（秋）」をテーマに、主に収穫に使われた農具と土地利用の変化の様子を展示している。

ウ 第3展示室

「土地利用の変化と農具の変遷（春）」をテーマに、田植えや土づくり、灌漑に使われた道具と用水から見た土地利用の変化を展示している。

エ 第4展示室

「公共施設・交通・道具の変遷」をテーマに、道具の移り変わりや刈谷市域の変容の様子を展示している。

オ 第5展示室

「はた織り」体験の部屋として、土曜・日曜・祝日にはた織り体験が可能。

カ 第6展示室

「昔の教室」をテーマに、昭和30年代の教室の様子をモチーフに再現し、教科書や給食用具などを展示している。

キ 第7、8展示室

「昭和30年代の家庭と遊び」をテーマに、昭和のおもちゃを紹介するとともに、昭和30年代の一般家庭の様子を再現して展示している。

(2) 特別展示（第8展示室・観覧料 無料）

ア 写真で振り返ろう！刈谷の歴史〈施設編・郷土資料館〉

※昭和 100 年記念歴史博物館連携事業

会 期（令和 7 年 3 月 20 日（木）から開催（9 日間））

4 月 1 日（火）～ 4 月 13 日（日）（12 日間）

入場者数 680 人

出品点数 5 点（写真パネルを含む）

イ 五月人形展示

会 期 4 月 15 日（火）～ 5 月 25 日（日）（36 日間）

入場者数 769 人

出品点数 8 点

ウ 写真で振り返ろう！刈谷の昭和展

会 期 6 月 21 日（土）～ 7 月 30 日（水）（34 日間）

入場者数 796 人

出品点数 6 点（写真パネルを含む）

エ 私のふるさと刈谷 まちなかギャラリー

会 期 8 月 1 日（金）～ 8 月 15 日（金）（13 日間）

入場者数 693 人

出品点数 47 点（写真パネルを含む）

主 催 まちづくりかりや

オ 文化財としての郷土資料館展

※あいちのたてもの博覧会 一斉公開

会 期 10 月 18 日（土）～ 12 月 14 日（日）（50 日間）

入場者数 1,663 人

出品点数 15 点（写真パネルを含む）

たてもの解説 11 月 8 日（土） 4 人

カ ひな祭り展示

会 期 1 月 31 日（土）～ 3 月 8 日（日）（31 日間）

入場者数 1,912 人

出品点数 24 点

キ 収蔵品で振り返ろう！わかしゃち国体

※歴史博物館・郷土資料館コラボクイズラリー

会 期 3 月 20 日（金・祝）～ 4 月 12 日（日）（21 日間）

入場者数 735 人

出品点数 21 点



私のふるさと刈谷 まちなかギャラリー



ひな祭り展示

3 教育普及事業

(1) 市内小学3年生郷土資料館見学（児童数計 1,329 人、引率教員計 71 人、合計 1,400 人）

見学日	学校名	人数	内容
11 月 11 日～13 日 (3 日間)	富士松東小学校	71	見学：第 2、3、4 展示室 講義：「郷土資料館の紹介」、 「土地利用の工夫」、 「道具のうつりかわり」
11 月 14 日、18 日～21 日 (5 日間)	かりがね小学校	148	
11 月 26 日～28 日 (3 日間)	双葉小学校	91	
12 月 2 日～4 日 (3 日間)	朝日小学校	90	
12 月 5 日、9 日、10 日 (3 日間)	小垣江小学校	81	
12 月 11 日、12 日 (2 日間)	富士松北小学校	70	
1 月 14 日～15 日 (2 日間)	日高小学校	107	
1 月 16 日、20 日 (2 日間)	小垣江東小学校	47	
1 月 21 日～23 日 (3 日間)	東刈谷小学校	97	
1 月 27 日、28 日 (2 日間)	衣浦小学校	101	
1 月 29 日、30 日 2 月 3 日 (3 日間)	小高原小学校	78	
2 月 4 日、5 日 (2 日間)	平成小学校	50	
2 月 6 日、20 日、25 日 (3 日間)	住吉小学校	131	
2 月 13 日、17 日～19 日 (4 日間)	亀城小学校	124	
2 月 20 日、25 日～27 日 (4 日間)	富士松南小学校	114	

(2) 郷土資料館見学事前説明会

夏休み期間中に、小学3年生の学級担任を対象に事前説明会を開催。

開催日	参加者	内容
8 月 19 日	30	見学当日の行程及び単元全体の進め方の提案等
8 月 20 日	17	

(3) 体験イベント

月に1～2回、土曜日に昔の生活に関連する工作や遊びのイベントを実施した。

場 所 第6展示室ほか

開催日	時間	イベント名	参加者数
4月5日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	親子で歴史散歩	9
4月19日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹ぼっくりを作ろう①	28
4月26日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹馬を作ろう①	49
5月10日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹の紙鉄砲を作ろう①	25
6月7日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	万華鏡を作ろう①	21
6月14日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹ぼっくりを作ろう②	21
7月5日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	七夕飾りを作ろう	19
7月12日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹の水鉄砲を作ろう①	28
7月19日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹の水鉄砲を作ろう②	27
8月3日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	夏まつり	380
8月23日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹灯籠を作ろう	22
9月13日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹の紙鉄砲を作ろう②	16
9月27日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹のけん玉を作ろう	15
10月11日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	竹馬を作ろう③	51
10月18日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	大人のための歴史散歩②	16
11月8日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	万華鏡を作ろう②	30
11月8日	第1回 10時30分～11時 第2回 13時30分～14時	たてもの解説 (あいちのたてもの博覧会一斉公開)	4
11月29日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	ゴム鉄砲を作ろう①	14

開催日	時間	イベント名	参加者数
12月13日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	門松を作ろう①	25
12月20日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	門松を作ろう②	28
12月21日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	門松を作ろう③	30
1月10日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	ダイヤ凧を作ろう①	21
1月17日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	ダイヤ凧を作ろう②	14
1月25日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	昔の生活体験①	24
2月14日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	昔の生活体験②	16
2月15日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	昔の生活体験③	22
3月1日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	昔の生活体験④	22
3月14日	第1回 10時～11時30分 第2回 13時30分～15時	大人のための歴史散歩③	14
延べ参加者数			991



体験イベント「万華鏡を作ろう！」の様子



「大人のための歴史散歩」の様子

(4) はた織り体験

おさの会に委託し、下記のはた織り体験事業を実施した。

ア はた織り体験

毎週土曜日、日曜日及び祝日にはた織り体験を行った。

時 間 10時～11時30分 / 13時～15時

場 所 第5展示室

参加料 小サイズ 100円 / 大サイズ 200円

参加者 延べ572人

イ はた織り体験講座

^{たて}経糸を準備するところからはじめ、裂き織りでテーブルセンターを織った。

日 時 7月15日(火)～18日(金) 9時～12時

場 所 第5展示室

参加料 600円

受講者 11人



「はた織り体験講座」

ウ 親子はた織り教室

子どもと保護者で裂き織りのテーブルセンターを織った。

日 時 7月24日(木)・25日(金)・26日(土)・27日(日)

午前の部 9時30分～11時30分

午後の部 13時30分～15時30分

場 所 第5展示室

参加料 200円

参加者 83人(42組)



「親子はた織り教室」

4 管理・運営

(1) 組織（令和8年3月31日現在）

市民活動部文化観光課内

刈谷市郷土資料館

館長（歴史博物館長兼務）1名 — 館長代理1名 —

指導主事（歴史博物館兼務）1名

学芸員（歴史博物館兼務）1名

会計年度任用職員 3名

(2) 職員

館長 鈴木隆

館長代理 神谷素直

指導主事 伊藤学

学芸員 井筒康人〔歴史〕

(3) 令和7年度決算

ア 歳出

項目	決算額（円）	摘要
郷土資料館費	19,679,955	施設管理等

イ 歳入

項目		決算額（円）	摘要
諸収入	雑入	90,800	冊子等頒布収入、講座受講料

(4) 利用状況

ア 入館者数

	開館日数	入館者数	入館者（年代別内訳）				
			大人	高校生	中学生	小学生	園児
4月	26	1,069	801	5	15	156	92
5月	27	1,001	908	1	3	54	35
6月	26	425	350	5	7	35	28
7月	27	682	507	5	11	106	53
8月	27	1,003	747	4	5	135	112
9月	24	470	351	6	8	60	45
10月	27	530	430	2	6	50	42
11月	26	941	507	2	9	372	51
12月	23	724	403	0	6	292	23
1月	24	933	425	3	32	442	31
2月	23	1,513	820	1	5	551	136
3月	26	995	769	2	10	102	112
合計	306	10,286	7,018	36	117	2,355	760

イ 視察・見学利用 (25 件 延べ 972 人)

来館日	団体名	人数
4 月 10 日	角文株式会社	16
4 月 17 日	ASC 岡崎	11
4 月 25 日	保育園 DacCo	12
4 月 27 日	元刈谷保健推進委員	25
5 月 10 日	文化工房かりや	5
5 月 31 日	JR さわやかウォーキング	520
6 月 27 日	豊田年金者組合	14
7 月 13 日	ウィズ	10
8 月 6 日	放課後等デイサービスネーフ	20
8 月 7 日	刈谷市教育委員会	51
8 月 9 日	放課後等デイサービスネーフ	12
9 月 6 日	放課後等デイサービス北辰会いちほし	7
9 月 18 日	さいとうグループ	12
10 月 6 日	ガールスカウト愛知県第 90 団	13
10 月 30 日	東吉野村交流事業 刈谷市史跡めぐり	30
11 月 9 日	愛知県立大学	12
11 月 11 日	デイサービスふたばの杜	27
11 月 24 日	名古屋大学	18
1 月 14 日	デイサービスアイナ	14
1 月 29 日	放課後等デイサービスあそまな・三崎	8
1 月 30 日	小規模多機能ホームいつものところ	5
2 月 18 日	刈谷幼稚園	47
2 月 19 日	知立歩こう会	17
2 月 20 日	あいち観光ボランティアガイドの会 西三河地区会・研修会	50
3 月 3 日	保育園 DacCo	16

(5) 広報

ア 郷土資料館ホームページ

展示やイベントの周知および利用案内、交通アクセス等の情報を掲載。

イ 市民だより

刈谷市広報広聴課が発行している広報紙でイベントを周知し参加者を募集した。

Ⅲ 収集保管事業

1 収蔵資料

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

歴史資料	古文書	考古資料
9,200 件	67,596 件	1,586 箱 (コンテナ箱数)

2 調査件数

個人や団体などから依頼を受け、資料調査を行った。

下記リストのほかに個人宅に赴き調査を行った。(12 件)

調査日	調査場所	調査資料
12 月 16 日	松雲院	月舟書群ほか (以降 6 回調査)
1 月 16 日	重原八幡社	弁天像

3 貸出・画像提供利用件数

(1) 資料貸出状況

貸出日	貸出先	貸出目的 (展覧会名・会期)	資料名
4 月 10 日	安城市歴史博物館	4 月 19 日～6 月 29 日 企画展「日本デンマークと呼ばれた時代—100 年前の碧海地域と農業—」	書拔帳、広告、硫曹肥料景品付販売値段表
4 月 18 日	刈谷市中央図書館	4 月 26 日～6 月 8 日 企画展「森銑三生誕百三十年・没後四十年記念展」	図書館ニ関スル一件日誌 (大正 5 年度、6 年度)
5 月 24 日	仙台市博物館	7 月 4 日～8 月 24 日 特別展「伊達を継ぐもの—仙台藩を築立った殿様たち—」	刈谷城絵図、御系譜之写
9 月 14 日	刈谷市中央図書館	9 月 27 日～11 月 27 日 刈谷図書館創立 110 周年記念「刈谷図書館と村上文庫展」	村上家蓬之庵碑文拓本、高須先生謝恩会記録、高須鈍吉書幅、刈谷町立刈谷図書館図書分類目録、同窓会雑誌第 9 号
11 月 18 日	岡崎市 三河武士のやかた家康館	11 月 29 日～1 月 25 日 企画展「生誕 500 年記念 松平広忠」	伝通院画像 (複製)
1 月 14 日	瀬戸市文化振興財団	1 月 31 日～6 月 28 日 瀬戸蔵ミュージアム企画展「新出土品展—尾張旭市・長久手市・日進市の調査の記録—」	洲原6号窯跡出土平瓶 (把手)

(2) 資料画像提供状況

貸出日	貸出先	目的	資料名 (記載のないものは当館蔵)
4 月 22 日	株式会社キャッチネットワーク	放送	亀城小学校画像
7 月 11 日	まちづくりかりや	展示利用 (パネル)	写真 (明治～昭和期の刈谷の街、人、生活風景など)

貸出日	貸出先	目的	資料名 (記載のないものは当館蔵)
8月21日	株式会社キャッチネットワーク	放送	学校行事写真帖、修了記念写真帖
9月4日	まちづくりかりや	イベント利用	歴史博物館・郷土資料館外観画像
9月10日	愛知県公文書館	講演会資料	書状(金銭借用願)・封
9月30日	個人	展示利用(パネル)	旭日図 ほか(渡部香堂作)
10月7日	NHK 名古屋放送局	テレビ放映	本刈谷貝塚出土 貝輪、盤状集骨墓
11月7日	個人	発表資料	週刊少国民
11月16日	富士市立博物館	展示利用(パネル)	本刈谷貝塚出土土器棺画像
12月12日	寛永行幸四百年祭実行委員会	広報動画	板倉重宗画像(松雲院蔵)
12月18日	愛知県陶磁美術館	書籍掲載	孫六第1号窯出土品
1月6日	株式会社アマゾンラテルナ	放送	伝通院画像(楞嚴寺蔵)
1月7日	個人	書籍掲載	刈谷城絵図 ほか
1月20日	株式会社キャッチネットワーク	記事掲載	東境村絵図
1月23日	立教大学異文化コミュニケーション学部	書籍掲載	鎌倉街道之図(泉正寺蔵)
2月19日	碧南市教育委員会	書籍掲載	押え瓦
3月6日	愛知県文化財室	パンフレット掲載	高周波発電機(画像)
3月15日	安城市教育委員会	書籍掲載	半城土村文書、小垣江村文書
3月24日	株式会社文と編集の杜	書籍掲載	板倉重宗画像(松雲院蔵)

4 寄贈資料

寄贈者	分類	資料名	件数
個人	歴史資料	短刀、脇差、槍	3
個人	古文書	亀城高等小学校修業証書ほか	29
個人	古文書	木村菅太郎関係資料	一式
個人	歴史資料	「伊勢湾台風義捐物資」段ボール	1
個人	歴史資料	アルバム1点、紙芝居15点	16
個人	歴史資料	刈谷関係文書 一式	31
個人	古文書	バイクモーターの手引、他10件	11
今岡地区	歴史資料	今岡神明社棟札、甲冑	17
個人	古文書	写真アルバム、封筒入招待状等	27
個人	歴史資料・古文書	旅館米せい関連資料	一式
個人	古文書	国勢調査記念章、他10件	21
個人	歴史資料	紙芝居「ブレーメンの音楽師」	1

寄贈者	分類	資料名	件数
個人	歴史資料	五代忠夫氏旧蔵資料	135
個人	古文書	旅館米せい関連資料（古文書・追加分）	一式
個人	歴史資料	民具類、古文書	28
個人	歴史資料	地券（明治期）	13
個人	歴史資料	文書類一式（地券など）、鍬3点、杵1点	一式

5 新規寄託資料

資料名	数量	備考
土井家家紋入具足	1領	

6 購入資料

分類	資料名	件数
歴史資料	ルネ・シュメー宮城道雄 春の海 SPレコード	1点
歴史資料	浮世絵 雪月花 讃岐 琴弾社月	1点
歴史資料	江戸むらさきあづまのうつし絵（夜景に琴）	1点
歴史資料	刈谷市レクリエーション大会プログラム	1点
歴史資料	刈谷工機株式会社営業報告（昭和24～26年）	1点
歴史資料	碧海郡軍人会規程	1点

7 修復資料

資料名	数量	備考
東境村絵図	1点	
土井利位書幅	1点	

8 その他

（1）資料収蔵庫移設作業

- ・資料収蔵庫のある城町図書館解体に伴い、民俗資料収蔵庫の建設及び移設作業を行った。
- ・郷土資料館の一室を活用するため、改修工事を行った南部生涯学習センター倉庫に収蔵資料の一部を移設した。

IV 埋蔵文化財事業

1 埋蔵文化財取扱業務

事業地が包蔵地に該当するかを事業者が博物館窓口やFAXで事前確認する窓口照会は471件、該当地や近接地における埋蔵文化財の所在の実地確認とその取扱いについて事業者が市へ文書で求める有無照会は26件あり、近接地11件が試掘調査、該当地15件が確認調査（1件次年度へ継続）の対応となった。

また、文化財保護法に基づき、周知の埋蔵文化財包蔵地内で土木工事等を行う際に事業者が提出する発掘届（第93条）・発掘通知（同94条）の受理及び県への進達は61件あり、6件が発掘調査（1件次年度へ継続）、32件が工事立会（前年度受理分3件を含む）、3件が慎重工事の対応となった。

文化財保護法第99条に基づく発掘調査の報告は17件で、4件が発掘調査、13件が確認調査に伴うものであった。

(1) 窓口での有無照会（FAX含む） 件数：471件

(2) 文書による有無紹介 件数：26件

(3) 試掘調査 件数：11件

調査日	近接遺跡名	事業内容	備考
4月18日	前屋敷第2号貝塚	宅地分譲	
5月8日	茶煎坊遺跡	分譲住宅建設	
6月5日	洲原第5号窯	個人住宅建設	
6月13日	前屋敷第2号貝塚	既存住宅解体	
6月21日	堂前遺跡	既存住宅解体	
8月7日	士族屋敷跡	個人住宅建設	
9月25日	八ッ崎東貝塚	個人住宅建設	
10月2日	士族屋敷跡	個人住宅建設	
10月16日	間瀬口遺跡	集合住宅建設	
2月25日	八ッ崎第2号古墳	宅地分譲	
3月26日	前屋敷第1号貝塚・ 前屋敷第2号貝塚	個人住宅建設	

(4) 確認調査 件数：14件（次年度へ継続を除く）

調査日	該当遺跡名	事業内容	備考
6月19日	中条遺跡	賃貸住宅建設	
7月10日	堂前遺跡	個人住宅建設	
7月23日	大湫遺跡	個人住宅建設	
9月9日	向畑貝塚	集合住宅建設	
10月2日	小垣江須賀城	個人住宅建設	
10月7日	小垣江地内城	個人住宅建設	
10月8日	茶煎坊遺跡	個人住宅建設	
10月9日	半崎貝塚	個人住宅建設	
10月23日	五月折戸貝塚	宅地造成	
12月9日	半城土古城	個人住宅建設	
1月9日	堂前遺跡	集合住宅建設	

調査日	該当遺跡名	事業内容	備考
1月23日	中西遺跡	個人住宅建設	
2月13日	半崎貝塚	個人住宅建設	
2月19日	刈谷城跡	個人住宅建設	
	半崎貝塚	個人住宅建設	R8へ継続

(5) 発掘調査 件数：5件（次年度へ継続を除く）

調査日	該当遺跡名	事業内容	備考
8月6日～9月4日	大西貝塚	個人住宅建設	
9月18日	半城土古城	宅地造成	
10月28日～12月13日	大西貝塚	宅地造成	
2月4日～3月13日	中西遺跡	個人住宅建設	
3月3日～4月30日	半崎貝塚	個人住宅建設	
	刈谷城跡	公園整備	R8へ継続

(6) 工事立会 件数：32件（次年度へ継続を除く）

調査日	該当遺跡名	事業内容	備考
4月8日	小垣江地内城	個人住宅建設	前年度受理分
4月16日	間瀬口遺跡	集合住宅建設	前年度受理分
5月16日	堂前遺跡	個人住宅建設	前年度受理分
6月13日	堂前遺跡	個人住宅建設	
6月18日	向畑貝塚	電柱建替	
7月8日	堂前遺跡	個人住宅建設	
7月9日	大西東遺跡	個人住宅建設	
7月22日	中条遺跡	賃貸住宅建設	
7月28日	堂前遺跡	個人住宅建設	
7月30日	大湫遺跡	個人住宅建設	
8月19日	大西貝塚	個人住宅建設	
8月21日	前屋敷第1号貝塚	電柱建替	
8月26日・27日 9月4日 11月6日・14日	刈谷城跡・緒川町貝塚	図書館の解体	
8月30日	堂前遺跡	個人住宅建設	
9月16日	芋川遺跡	個人住宅建設	
9月26日・27日	刈谷城跡	ボーリング調査	
11月7日	五月折戸貝塚	擁壁工事	
11月12日	泉田市場屋敷遺跡	既存住宅解体・個人住宅建設	
11月12日	茶煎坊遺跡	個人住宅建設	
11月18日	堂前遺跡	個人住宅建設	
12月5日	小垣江地内城	個人住宅建設	
12月16日	刈谷城跡	支線入替	
12月16日	大西東貝塚	個人住宅建設	

立会日	該当遺跡名	事業内容	備考
1月23日	堂前遺跡	個人住宅建設	
1月30日	半崎貝塚	個人住宅建設	
2月13日	刈谷城跡	集合住宅建設	
2月25日	堂前遺跡	個人住宅建設	
3月2日	堂前遺跡	個人住宅建設	
3月2日	刈谷城跡	支柱設置	
3月16日	堂前遺跡	個人住宅建設	
3月23日	大西貝塚	支線撤去	
3月28日	刈谷城跡	既存住宅解体	
	中条遺跡	個人住宅建設	R8へ継続
	堂前遺跡	集合受託建設	R8へ継続
	大西貝塚	支線撤去	R8へ継続
	堂前遺跡	個人住宅建設	R8へ継続
	絵下城	個人住宅建設	R8へ継続
	刈谷城跡	個人住宅建設	R8へ継続
	五月折戸貝塚	個人住宅建設	R8へ継続
	堂前遺跡	個人住宅建設	R8へ継続
	大西貝塚	個人住宅建設	R8へ継続
	泉田市場屋敷遺跡	ガス管埋設	R8へ継続
	大西貝塚	ガス管埋設	R8へ継続
	堂前遺跡	個人住宅建設	R8へ継続
	宮東第1号貝塚	既存住宅解体	R8へ継続

(7) 慎重工事 件数：3件

遺跡名	事業内容
向畑貝塚	集合住宅
小垣江須賀城	個人住宅建設
半城土古城	個人住宅建設

2 主な調査概要

(1) 大西貝塚発掘調査 (8月6日～9月4日)

個人住宅の建設に伴う発掘調査。対象地は大西貝塚の南部で、遺跡の北を西流する発杭川に面した洪積台地上に立地する。

対象地の西側に調査区A、東側に調査区Bを設定して調査を行った。調査区Aで検出された溝状遺構からは、中世の内耳鍋などが出土し、東側に設定した調査区Bからは、調査区Aから続く溝状遺構や土坑が検出された。そのほか複数のピットも検出された。



大西貝塚発掘調査風景

(2) 半城土古城発掘調査 (9月18日)

宅地造成工事に伴う発掘調査。対象地は半城土古城の中央部に位置する土塁部分に該当し、高さ約3mの土塁遺構が残存している。

対象地の地形測量を行った後、1か所にトレンチを設定し、土塁断面を調査した結果、砂質の土塁盛土と粘土ブロックを確認したほか、土器や陶器の破片なども出土した。



半城土古城発掘調査風景

(3) 大西貝塚発掘調査 (10月28日～12月13日)

宅地造成工事に伴う発掘調査。対象地は大西貝塚の南部で、遺跡の北を西流する発杭川に面した洪積台地上に立地する。

調査を行った結果、検出された竪穴状遺構からは古代の須恵器が出土した他、遺構の床面からは貯蔵穴と思われる土坑も検出された。また、井戸状遺構からは破砕されたンジミを主体とした貝殻や山茶碗などが出土した。この他、ピットや土坑も複数検出した。



大西貝塚発掘調査風景

(4) 中西遺跡発掘調査 (2月4日～3月13日)

個人住宅の建設に伴う発掘調査。対象地は中西遺跡の東部に位置し、南側に位置する八王子神社貝塚とは一連の遺跡であると考えられる。

中西遺跡は弥生時代、鎌倉時代の散布地として知られていたが、これまで正式な発掘調査は行われていなかった。今回、発掘調査を行った結果、攪乱部分が多く確認されたが、残存しているピットや土坑も確認され、遺構内からは、弥生時代や中世と思われる土器片が出土した。



中西遺跡発掘調査風景

3 出土遺物等整理作業

- ・中世城館関連遺物（野田城、小垣江地内城、刈谷古城、絵下城、泉田市場屋敷遺跡）の整理作業を実施した。
- ・大西貝塚出土遺物（令和7年度調査分）の整理作業を実施した。

4 報告書等刊行物

令和7年度における埋蔵文化財関係の刊行物はなし。

V 条例・規則

1 刈谷市歴史博物館条例

平成 30 年 3 月 28 日条例第 13 号

改正 平成 30 年 6 月 29 日条例第 21 号

令和 5 年 3 月 28 日条例第 10 号

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の2の規定に基づき、博物館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(名称及び位置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を設置する。

2 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

(1) 名称 刈谷市歴史博物館

(2) 位置 刈谷市逢妻町4丁目 25 番地1

(事業)

第3条 刈谷市歴史博物館は、次に掲げる事業を行う。

(1) 歴史、考古、民俗、美術工芸等に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及び供用すること。

(2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。

(3) 博物館資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。

(4) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。

(5) その他刈谷市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたこと。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。

(2) 建物又は附属物を害するおそれがあると認めたとき。

(3) 管理上支障があると認めたとき。

(4) その他教育委員会が適当でないと認めたとき。

(損害賠償義務)

第5条 故意又は過失により施設、設備又は博物館資料を破損し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(博物館協議会)

第6条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、刈谷市歴史博物館に刈谷市歴史博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員 10 人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

(1) 学校教育及び社会教育の関係者

(2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(3) 学識経験を有する者

(4) その他教育委員会が必要と認める者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 31 年3月 24 日から施行する。ただし、第6条及び第7条並びに次項の規定は、平成 30 年 10 月1日から施行する。

(刈谷市報酬額及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部改正)

2 刈谷市報酬額及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例（昭和 32 年条例第1号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中第 49 号を第 50 号とし、第 48 号の次に次の1号を加える。

(49) 歴史博物館協議会委員 日額 6,400 円

第4条第2項ただし書中「第2条第1項第 49 号」を「第2条第1項第 50 号」に改める。

附 則（平成 30 年6月 29 日条例第 21 号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成 30 年7月1日から施行する。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

2 刈谷市歴史博物館条例施行規則

平成 30 年 3 月 28 日教育委員会規則第 3 号

(趣旨)

第1条 この規則は、刈谷市歴史博物館条例（平成 30 年条例第 13 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 刈谷市歴史博物館（以下「博物館」という。）の休館日は、次のとおりとする。ただし、刈谷市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が特に必要があると認めたときは、変更することができる。

(1) 毎週月曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日の翌日

(3) 1月1日、1月3日及び12月29日から12月31日まで

(4) 施設の管理上必要な日

2 前項第4号の休館日の期日については、教育委員会が定める。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めたときは、変更することができる。

(観覧料)

第4条 博物館の特別展示の観覧料の額は、その都度教育委員会が定めた額とする。

2 既納の観覧料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、その全部又は一部を返還することができる。

(1) 災害その他観覧しようとする者の責めに帰すことのできない事由により観覧できないとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、教育委員会が特別の理由があると認めたとき。

(使用許可等)

第5条 博物館資料の使用をしようとするものは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。ただし、図書等(重要文化財その他これに準ずる重要なものを除く。以下同じ。)の閲覧にあつては、この限りでない。

(使用許可の申請等)

第6条 前条の許可を受けようとするものは、刈谷市歴史博物館資料使用許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の申請書を受理した場合は、その内容を審査し、適当と認めたときは、刈谷市歴史博物館資料使用許可書（様式第2号）を当該申請書を提出したものに交付する。

3 教育委員会は、前項の規定による許可に必要な条件を付することができる。

4 図書等を閲覧しようとする者は、閲覧票（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

(使用許可の制限)

第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、博物館資料の使用を許可しない。

(1) 博物館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるとき。

(2) 現に博物館資料が展示されているとき。

(3) 寄託された博物館資料で、寄託者の同意を得ていないとき。

(4) 著作権者がある博物館資料で、著作権者の同意を得ていないとき。

(5) その他教育委員会が適当でないと認めたとき。

(使用許可の取消し等)

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、博物館資料の使用の許可を取り消し、又は中止を命ずることができる。

(1) この規則に違反したとき。

(2) 使用の許可条件に違反したとき。

(3) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。

(4) 災害その他の事故により使用ができなくなったとき。

(5) 公共の福祉のためやむを得ない理由があるとき。

2 前項の規定によって第6条第2項の規定により許可を受けたもの（以下「使用者」という。）が受ける損害に対して、教育委員会はその責任を負わない。

(原状回復義務)

第9条 使用者は、博物館資料の使用を終了したときは、直ちに原状に復さなければならない。前条第1項の規定により博物館資料の使用の許可を取り消され、又は中止を命ぜられたときも同様とする。

(弁償)

第10条 図書等を亡失し、又は汚損し、若しくは破損したときは、同一図書等又はその図書等の時価をもって弁償しなければならない。ただし、災害等やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

(遵守事項)

第11条 博物館の利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 秩序ある行動をとること。

(2) 指定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。

(3) 危険物を携帯し、又は動物類を連行しないこと。

(4) 許可を受けないで物品を展示し、又は販売しないこと。

(5) その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

(協議会の会長)

第12条 条例第6条第1項の刈谷市歴史博物館協議会（以下「協議会」という。）に、会長を置き、協議会の委員（以下「委員」という。）の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第13条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。

3 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第14条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者から意見を聴き、又は説明若しくは資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第 15 条 協議会の庶務は、博物館において処理する。

(協議会の運営)

第 16 条 第 12 条から第 15 条に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(雑則)

第 17 条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成 31 年 3 月 24 日から施行する。ただし、第 4 条及び第 12 条から第 17 条までの規定は、平成 30 年 10 月 1 日から施行する。

様式第1号（第6条関係）

刈谷市歴史博物館資料使用許可申請書

年 月 日

刈谷市教育委員会

申請者 住 所
氏 名
〔団体の場合は名称
及び代表者氏名〕
電話番号 ()

下記のとおり申請します。

資料の名称 及び数量	名 称	数量	備 考
区 分	☐ 撮影 ☐ 複写 ☐ その他 ()		
目的又は用途			
期 間	年 月 日 ～ 年 月 日		

様式第2号（第6条関係）

刈谷市歴史博物館資料使用許可書

第 号
年 月 日

様

刈谷市教育委員会 図

年 月 日付けの申請について、下記のとおり許可します。

記

資料の名称 及び数量	名 称	数量	備 考
区 分	☐ 撮影 ☐ 複写 ☐ その他 ()		
目的又は用途			
期 間	年 月 日 ～ 年 月 日		

様式第3号（第6条関係）

閲 覧 票

年 月 日

刈谷市歴史博物館長

住 所
氏 名

下記図書等の閲覧をお願いします。

記

整理番号	図 書 等 の 名 称	備 考

3 刈谷市郷土資料館条例

昭和 55 年4月1日条例第 12 号

改正 昭和 59 年4月1日条例第 15 号

平成 17 年3月 28 日条例第 25 号

平成 20 年6月 27 日条例第 24 号

令和元年 12 月 25 日条例第 29 号

(趣旨)

第1条 この条例は、郷土資料の保存と活用を図り地方文化の発展に寄与するため、刈谷市郷土資料館（以下「資料館」という。）の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(名称及び位置)

第2条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

(1) 名称 刈谷市郷土資料館

(2) 位置 刈谷市城町1丁目 25 番地1

(事業)

第3条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

(1) 民俗に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及び供用すること。

(2) 資料に関する調査研究を行うこと。

(3) その他刈谷市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたこと。

(入館の制限)

第4条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。

(2) 建物及び附属物を害するおそれがあると認めたとき。

(3) 管理上支障があると認めたとき。

(4) その他教育委員会が適当でないと認めたとき。

(損害賠償義務)

第5条 故意又は重大な過失により施設、設備又は資料を破損し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和 59 年4月1日条例第 15 号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成 17 年3月 28 日条例第 25 号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成 17 年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行前になされた刈谷市郷土資料館の管理を行わせるものを選定する手続は、改正後の刈谷市郷土資料館条例の規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成 20 年6月 27 日条例第 24 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和元年 12 月 25 日条例第 29 号）

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

4 刈谷市郷土資料館条例施行規則

昭和 55 年4月1日教育委員会規則第4号
改正 平成 17 年3月 22 日教委規則第4号
平成 20 年6月 27 日教委規則第5号
令和2年3月 26 日教委規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、刈谷市郷土資料館条例（昭和 55 年条例第 12 号）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 刈谷市郷土資料館（以下「資料館」という。）の休館日は、次のとおりとする。ただし、刈谷市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が特に必要があると認めたときは、変更することができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日の翌日
- (3) 1月1日、1月3日及び12月29日から12月31日まで
- (4) 施設の管理上必要な日

2 前項第4号の休館日の期日については、教育委員会が定める。

(開館時間)

第3条 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が特に必要があると認めたときは、変更することができる。

(遵守事項)

第4条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 秩序ある行動をとること。
- (2) 指定の場所以外の所で飲食し、又は喫煙し、若しくは火気を使用しないこと。
- (3) 危険物を携帯し、又は動物類を連行しないこと。
- (4) 許可を受けずに物品を展示し、又は販売しないこと。
- (5) 許可を受けずに壁、柱等に張り紙をし、又はくぎ類を打たないこと。
- (6) その他管理上必要な指示に反する行為をしないこと。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 17 年3月 22 日教委規則第4号）

(施行期日)

1 この規則は、平成 17 年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行前になされた刈谷市郷土資料館の管理を行わせるものを選定する手続は、改正後の刈谷市郷土資料館条例施行規則の規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成 20 年6月 27 日教委規則第5号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則（令和2年3月 26 日教委規則第1号）
この規則は、令和2年4月1日から施行する。

刈谷市歴史博物館・刈谷市郷土資料館
令和7年度 年報（第7号）
令和8年10月1日発行

発行 刈谷市
編集 刈谷市歴史博物館
住所 〒448-0838
愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1
TEL 0566-63-6100 FAX 0566-63-6108
URL <https://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/>